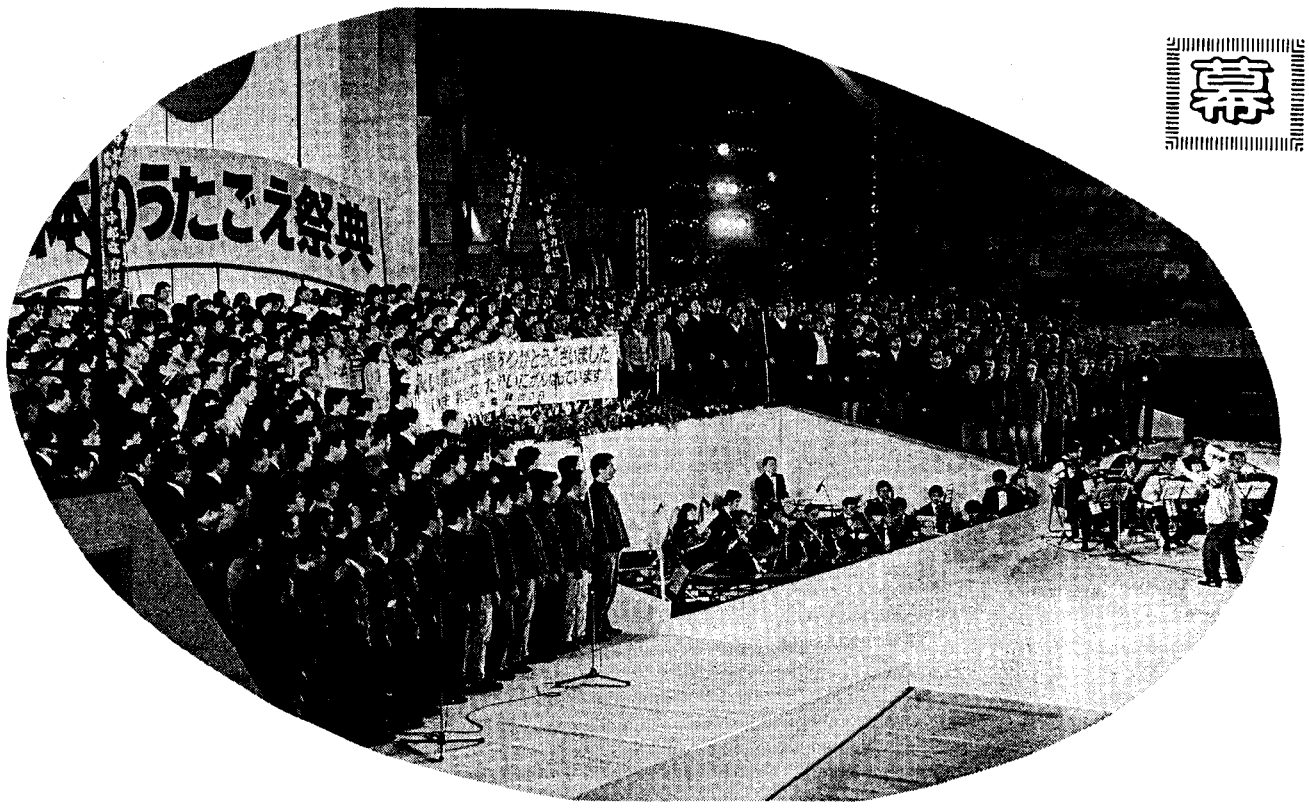
1959年1月31日第3種郵便物認可

週刊 うたごえ新聞

12／7 (1987年) NO. 1184

THE SINGING VOICE OF JAPAN
日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒160 東京都新宿区大久保2—16—36
☎ 03(209)0638 FAX 03(200)0105
振替口座 東京2-5631 毎週月曜日発行
1部120円(〒25円)・月480円(〒120円)

日本のうたごえ祭典 閉幕



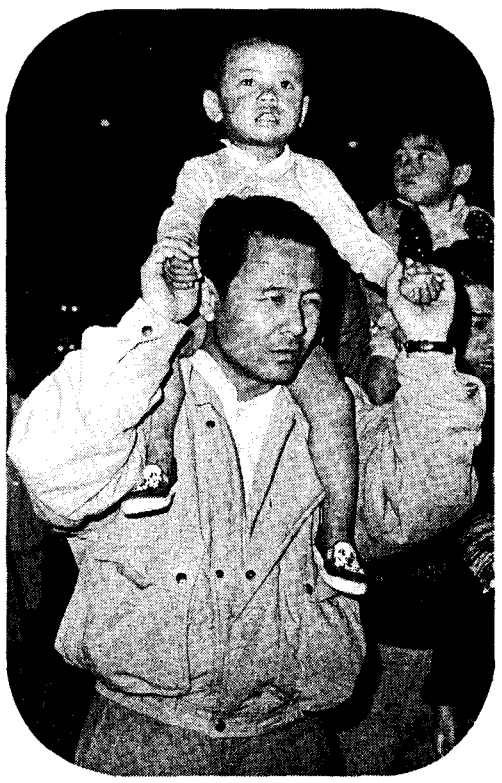
▲大音楽会のクライマックスは大合唱〈地底のうた〉。（指揮・原守男）

うたごえ創立40周年へ 初の埼玉開催 1600名余が参加

力強い足がかり

八七年日本のうたごえ祭典は十一月二十一日から二十三日までの三日間、初めて埼玉で開かれ、〝きらめくよ、平和のうたが。いかそうよ、暮らしに憲法を……。〟のスローガンのもと、のべ一万六千名余が参加しました。各会場の周辺には、県下労働組合による「歓迎！ 日本のうたごえ祭典」の看板が立ち並び全国からの参加者を迎えました。

一日目の二十一日、**創作発表会**（埼玉会館小ホール・400名）、**パフォーマンス・コレクション**（浦和市民会館ホール・200名）、**特別音楽会**（埼玉会館大ホール・1300名）、「**レールからのメッセージ**」（大宮市民会館・800名）の各音楽会で始まった祭典は翌二十二日、**合唱発表会〈地域の部〉**（北本文化センター・700名）、**合唱発表会〈階層の部〉**（埼玉会館小ホール・700名）、**森の世界音楽会**（埼玉会館大ホール・1000名）とつづき**大音楽会**（県立上尾運動公園体育館・6000名）には、開場前から長蛇の列がつづきました。



大音楽会終了後も深夜からオールナイトの**エキサイティングコンサート**（ライブスポット〝フリークス〟・350名）が開かれ、明け方まで熱気に包まれました。

最終日二十三日は**合唱発表会〈中心合唱団の部〉**（埼玉会館大ホール・1100名）**合唱発表会〈職場の部〉**（浦和市民会館ホール・800名）、**アコーディオン・フェスティバル**（蕨市民会館ホール・650名）が、それぞれ開かれ、祭典全体をしめくくる**ファイナル・コンサート〝スクラム〟**（浦和市文化センター・1200名）では、祭典開幕の前日、二十日に発足した労働運動の右寄り再編の旗頭、「連合」に抗する闘いの歌声を呼びかわしました。

祭典は、埼玉県内の合唱団・うたごえサークルの奮闘、革新県政、県内の労働組合、民主団体の協力に支えられ、当初の一万五千名の目標を越え、憲法施行四十周年をしめくくるにふさわしい祭典となり、来年に迫ったうたごえ創立四十周年の足がかりをつくり閉幕しました。

なお祭典期間中の二十一日には浦和市高砂町仲町周辺で**浦和・平和フェスティバル**が、二十二日には**私鉄のうたごえ20周年縦断コンサート**（所沢市松井公民館）、**第25回農協のうたごえ祭典**（東京・全林野会館）も開かれています。

（関連記事2・3・4・5・8面）

◇おしらせ◇

87年日本のうたごえ祭典大音楽会ビデオの予約を受付けています。

12月中旬完成の予定で定価1万円。VHSかβかを明記し、左記へ。

〒353志木市幸町1—11—46 清水ビル1F、埼玉ビデオセンター、☎0484・74・8795。または埼玉のうたごえ協議会（☎0486・42・3591）。

＊ ＊ ＊

忘れ物が多数、祭典事務局に保管されています。ところあたりの方は一報を。（次号に一覧を掲載します）☎0486・42・3591

ふめんだい

全日自労熱田分会の合唱団サボテンのおばさんたちは平均六十五歳を超える。今回のうたごえ祭典には、名古屋からバスでかけつけたが、渋滞で何と十三時間の旅。出演予定の特別音楽会には夜九時頃の閉幕ギリギリに間に合った。

☆ ★ ☆

「ブッヘンフルドの奮鐘」。戦争根絶を訴える人生のベテランの声はしっかりと胸にとびこみ、聴く者の背筋もピンと正される。

長旅の疲れを見せないどころか、日頃の誠実な練習ぶりをうかがわせ、奇しくも特別音楽会のトリをかざった。

☆ ★ ☆

ファイナル・コンサートは、もう一つの音楽的感動

企業の軍事生産強化に反対し、不当解雇と闘う石川島播磨重工の労働者と東京のうたごえの演奏「闘うわれら」は、うたい出しから会場の手拍子が起こった。

サボテンの場合は思わず目をこらし耳を澄ませたがこの時は身も心も舞台に唱和することで、「闘うわれら」の名曲ぶりが光った。

☆ ★ ☆

身も心も尽くし、全生活をあげて演奏（伝達）力を磨くこと、職場、地域、学園、家庭で、声も心も連帯する人間関係の輪を強め、広げ、それを音楽（歌）として表現すること。

☆ ★ ☆

来年は国技館でうたごえ四十周年記念祭典だが、けれん味なくまわりに協力を依頼できる。主体的決意は固まっているから。（石）